

花いっぱい運動

高蔵小学校では、昭和50年から「花いっぱい運動」と称し、子どもたちが主体となって花を育てる活動をしています。現在は、以下のようにねらいを定め、様々な活動を行っています。

活動は熱田区まちづくり推進室、熱田区環境事業所、熱田土木事務所、公益財団法人名古屋市みどりの協会、高蔵学区連絡協議会からのご協力の下で行っています。また、運動に掛かる費用は、毎年冬に行われる「PTSAチューリップバザー」の収益を利用しています。

高蔵小学校にお越しの際や高蔵学区の公園、熱田区の公所にお出かけの際は、是非、花壇の花をご覧ください。

ねらい

総合的な学習の一環として、校内や地域の花壇で草花を育てる活動を行い、草花や地域に親しむ。また、仲間と協力して取り組む力や、思いやりの心を育む。

活動の概要

地域美化

高蔵学区にある公園とどんぐり広場の花壇を中心に、花の育成を行います。分団ごとに花壇を担当し、1年生から6年生までが一緒に活動します。デザインと苗の選択、土作り、定植、水やり、草取りと子どもたちが主体となって行います。

また、保護者をはじめ、地域の方々も協力していただき、地域みんなできれいな花壇を目指しています。

毎年4月には熱田区地域力推進室、熱田区環境事業所、熱田土木事務所、高蔵学区連絡協議会、PTAから来賓をお招きし、花壇審査を行っています。地域で育てた花壇を「デザイン」「生育」「手入れ」の観点で採点していただき、全校集会で表彰をしています。また、それぞれの花壇について、点数だけでなく、よりよい花壇にするためのアドバイスをいただき、子どもたちは次回の花壇作りに向けて参考にさせていただいています。



【土作り】



【定植】



【花壇審査】

一人一鉢

12月頃から翌年の春に向けて、1年生から5年生までが個人の鉢にチューリップの球根を植えます。5年生は6年生のチューリップも育て、3月の「6年生を送る会」で卒業記念として6年生にプレゼントします。

また、1年生から5年生までのチューリップは、4月に行われる校内メイン花壇を中心とした「チューリップ祭」の一部として飾ります。「チューリップ祭」には、例年、学区の方々や幼稚園、保育園の園児たちなど、多くの方に楽しんでいただいています。



【一人3球ずつ植えます】



【6年生へプレゼント】



【チューリップ祭】

メイン花壇、噴水周り花壇

校内で一番大きなメイン花壇は5年生、正門を入れてすぐの噴水周りの花壇は園芸委員が中心となり、様々な花の世話をします。春はチューリップを中心にデザインを考えます。秋はベゴニア、ポーチュラカなど、季節に合わせて様々な花を組み合わせでデザインを考え、来校者にも喜んでいただいています。



【メイン花壇】



【噴水周り花壇】



【チューリップ祭】

プランター配付

春に各学級で育てたチューリップを学区の企業や交番、金山駅、警察署や消防署、区役所、作業所などに配付しています。配付場所は学年や学級ごとに分担し、心を込めて育てています。配付先の地域の方々も大切に花を育ててください、児童も喜んでいきます。



【きれいな花が咲きますように】 【土木事務所の方々に協力 】【金山総合駅のチューリップ】
【していただいて配付します】

チューリップ球根の配布

校内や学区で育てたチューリップの球根を回収し、次年度の作品展や学芸会で、来校者にプレゼントしています。球根を選別して干すのは2年生、プレゼント用の袋を作るのは1年生、袋に球根を入れて会場に並べるなど、それぞれの過程を各学級が担当しています。毎年楽しみにしてくださっている方もみえて、「今年もきれいなチューリップが咲いたよ」と言っていたき、子どもたちは喜んでいきます。



【たくさんの球根を干します】 【一枚ずつ袋を作ります】 【丁寧に袋詰めをします】